



2019年5月23日 第2373回例会
5月第3例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
「インスピレーションになろう」

本年度会長テーマ
「奉仕の理想に向かって、楽しむロータリーに」

「青少年奉仕月間」

◆会長時間◆

森脇会長



今月はロータリーの「青少年奉仕月間」です。

「広島のマザーテレサ」。こう呼ばれて、一躍全国区になったのは、NPO法人「食べて語ろう会」の理事長中本忠子（ちかこ）さんです。保護司として更生保護活動に約40年間携わってきた女性です。

保護司活動を続けるなかで中本さんは、少年少女の更生への第一歩は、居場所があり、腹いっぱい食べることだと考えます。この思いから広島市中区基町の自宅で、手料理の食事を提供し始めました。もちろん無料奉仕です。年十年もの長い間続けられたことに頭が下がります。

「腹が減っては戦ができない」とは昔からよくいわれます。腹が減った、空腹状態がつづくと、つい他人のものを盗む、万引きをするなどという悪い心が芽ばえます。非行に走った少年少女は、居場所となる温かい家庭がありません。中本さんは、非行に走った少年少女に「居場所」と手料理の食事を提供してきました。

何人の少年、少女が集まります。うわさを聞いて仲間をつれてきます。中本さんの手料理を食べながら、自身の悩みなど胸の内を話す。話を聞くうちに、やがて立ち直るきっかけをつかみ、社会人として立派に成人した子も少なくありません。

1. あいさつをする。／1. 時間を守る／1. うそをつかない、が約束事です。信頼関係の第一歩です。これだけ守ればうるさくは言わないといいます。

中本さんは、少年少女から「ばっちゃん」と呼ばれて親しまれています。

中本さんの著書『あんた、ご飯食うたん?』(KANZEN)には「子供の心を開く大人の向き合い方」について示唆に富む体験談が書かれています。一読を。

家庭での母親の愛情のひとつは、食事にあります。現代社会では、家庭で食事がまとまるとれない子供が少なくないのです。

なんらかの事情で家庭が崩壊すると、子供への食事などできないのです。親は日々の生活のために働き、子供に手をかける時間はなくなります。子供は親の犠牲となり、ろくな食事がとれない。子供の成長にいいわけがありません。

こうした子供たちへの救いの手が、最近マスコミで取り上げられるいわゆる「子供食堂」です。今全国でその数は増えているといいます。子供食堂とは、無料または百円程度の金額で食事を提供するところをいいます。中本さんの奉仕活動は「子供食堂」の先駆けです。まずは食べることから生活は始まる 것을痛感します。

母がいつも言っていた「あんたご飯食べたん?」を思い出します。

●会務報告

小橋幹事

※例会終了後、3階「アカシア」において第5回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会役員及び各委員長は出席願います。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 隅田委員長

本日(5月23日・木曜日)

会員数 84名 出席者 73名

欠席者 11名 ご来客 2名

ご来賓 2名 ゲスト 0名

計 77名

前々回(5月9日・木曜日)

出席率 100%



※広島市教育委員会 学校教育部 部長 森川伸江 (もりかわ のぶえ)氏より子ども見守りジャパンパー感謝状 挙受



広島西ロータリークラブ例会あいさつ

皆様こんにちは。広島市教育委員会 学校教育部 部長 森川 伸江でございます。

皆様には、平素から本市行政の推進に御理解と御協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

また、この度は、子どもの見守り活動のシンボルとなるジャンパーを寄附していただき、心から感謝申し上げます。これまでにも、広島西ロータリークラブの皆様には、平成18年以降、今回を含め8度の御寄附をいただいている。誠にありがとうございます。そして、本日、このような機会をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年の新潟市で発生した児童殺人事件など、全国では、児童が被害者となる事件が後を絶ちません。

本市におきましても、13年前となります。安芸区の矢野西小学校の児童が下校中に殺害されるという事件が起きています。この後、こうした悲惨な事件を二度と起こしてはならないと決意を新たにし、より一層の安全対策の充実・強化に取り組むために、毎月22日を「子ども安全の日」と定め、各学校・家庭・地域で様々な取組を行うとともに、見守り・巡回活動を継続しています。

しかしながら、昨年度、学校から教育委員会に寄せられた不審者情報は351件あり、その都度、学校等を通じて児童生徒、保護者に情報提供し、注意喚起を行っているところです。

子どもの安全を確保するためには、できるだけ多くの大人が、子どもを見守る環境を創り出す必要があると考えており、地域の方々が一緒になって行う見守りや、散歩や買い物の際に個人で行う見守りへの参加を呼びかけています。

こうした中、ジャンパーは、見守り活動に協力していただく方々のシンボルとなり、見守り活動をより活発にするとともに、子どもたちはもとより保護者にも安心感を与えることができるものと考えています。

見守り活動に御協力していただく方々等から教育委員会に、ジャンパーの配付希望の声が多く寄せられていますが、在庫が十分にないため、御要望のすべてに沿うことができていないのが現状です。

この度、広島西ロータリークラブの皆様からいただきましたジャンパーは、西区・佐伯区で組織的に見守りを行うボランティアの方々などに配付することができ、大変有難く、有効に活用させていただいています。

引き続き、広島西ロータリークラブの皆様には、可能な限り、御支援をいただければ幸いです。

今後とも子どもたちの安全のために御協力をよろしくお願ひいたします。

※地域・環境委員会 宍戸委員長

クラブ名入りベスト及び帽子を作成しましたので、お持ち帰りください。今後のクラブ奉仕活動の際にご着用をお願いします。

※次年度加藤幹事

一部会員の次年度委員会配属が変更になります。

したので、改めて所属委員会表及び創立50周年行事実行委員会組織表を配布しております。

【次年度青少年・インタークト委員会 森信君
青少年交換ホストファミリー受け入れ
アンケートについて

交換学生の受け入れについて、会員の皆様のご意向をお尋ねいたします。アンケートにお答えください。

【親睦活動委員会 熊本君

最終夜間例会並びに会員懇親会のご案内

6月27日をもちまして、2018-19年度全46回例会が終了します。

つきましては、1年間のロータリー活動のねぎらいと希望に満ちた次年度を迎えるべく夜間例会に変更し会員懇親会を開催いたしますので、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

日 時：2019年6月27日(木)

18:00～例 会

18:10～懇親会

19:00～アトラクション

「よさこい」踊り

20:10 閉 会

● 同好会報告

【紫友会 原世話人】

5月18日～19日総勢25名の参加で、熊本・阿蘇方面へ毎年恒例の遠征旅行に行ってきました。両日とも生憎の天候でしたが、大いに懇親を深めた楽しい旅行となりました。



【例会結果】於くまもと中央カントリークラブ

優勝 上野(彰)君 アウト44 イン44 グロス88 HDCP18 ネット70.0
2位 上田君、3位 西原君、B B賞 柴田君
ベストグロス賞 上田君 グロス81
シニア優勝 上田君

翌日開催のコンペ(於阿蘇大津ゴルフクラブ)はスコア集計不備のためノーゲームとなりました。

荒れた天候にトラブルと、いろいろと思い出深い遠征旅行となりました。

● 会員記念日

【ご入会記念月おめでとうございます。】

(10名)

刀禰君 (S59年)	岡野君 (S59年)
田中君 (H5年)	前橋君 (H17年)
鈴木君 (H20年)	松田君 (H25年)
新本君 (H25年)	北村君 (H28年)
石山君 (H28年)	田島君 (H30年)

【創業月おめでとうございます。】

(5名)

柳原君 株広島精機	松岡(幹)君 株松岡製作所
森信君 森信建設株	上田君 上田昆布株
原君 株やしき	

●スマイルボックス SAA 松岡(輝)委員長

【久保君 (自主申告・大枚)】

皆様、大変大変大変ご無沙汰いたしておりまます。この度、ようやく役員会議の日時が変更し、例会出席が叶うようになりました。

メーニングばかりでさみしい思いをしておりましたが、これまでの歴代会長・幹事の皆様方に深くおわび申し上げるとともに、ご厚情に感謝申し上げます。気持ち新たに例会出席して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

■ 社会・青少年奉仕部門クラブフォーラム(5月16日例会)まとめ

2019年5月23日

青少年・インタークト委員会
委員長 山縣浩一

クラブフォーラム報告書

社会・青少年奉仕部門クラブフォーラムでは、ひろしま協創インタークトクラブと提唱クラブである広島西ロータリークラブのあり方について、大変多くの貴重なご意見や提案をいただきました。フォーラムで出た内容を各議題ごとにまとめてい

ますが、これらの内容は次年度田原委員長にも
しっかりと引き継ぎ、今後の委員会活動に活かして
いきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

議題1 部員数の確保と(そのために)できる支援

- ・学校のこと。先生たちが頑張ることでは?
- ・宮島ウォーキング(のように)喜んで学ばせ
ることが大事
- ・ホームページに活動を明記すべき
- ・正式なクラブなのか? インターアクトにロ
ータリーは口出しできるのか?
- ・学校内でステータスを上げる努力を学校もし
なくては
- ・35名(の部員)に対して参加は十数名
- ・(他の)部活と兼務となっている(のは)魅
力ある活動(が必要)
- ・生徒主体で計画、予算、増強について考えさ
せること
- ・所属意識を持つてもらう(名刺、バッジ)
- ・達成感を味わせる(ロータリークラブも協力
する)
- ・萩光塩学院のデータを参考にしてレクチャー
する
- ・他の学校の取り組みではなく各学校(ひろしま
協創)に合った活動を考える
- ・活動不足は支援金が少ないのが原因かも。ロ
ータリアンのかかわりが少ない
- ・学校が推薦考(慮)の対象になる(修道高校)
- ・達成感・充実感→動機
- ・目的→活動→サポート
- ・他の生徒に知ってもらう
- ・ボランティア活動が「内申点」などのアップ
につながるように
- ・大クラブ(規模の大きいIAC)の方法を探る、
分析する
- ・議題3からはじめ議題2へ、これが議題1
(部員数の確保)につながるのではないか

議題2 交流事業のあり方について

- ・奉仕活動を一年間行ったことに対する喜びや
感謝の集大成として考えれば「ごほうび」で
いいのではないか
- ・活動は学校に任せきりで、提案、指導はして
いない(のが現状ではないのか?)
- ・スキーはご褒美である

- ・支援していくのであればしっかりとする
- ・学校とロータリー、生徒の要望がマッチしな
いと(いけない)
- ・予算規模が中途半端では?(修道はハワイに
交換(留学生?)を出していたが、金がかか
っていた)
- ・ロータリーの支援額が少ない
- ・生徒主体ではなかなか提案が上がってこない
- ・慰労会になっている(現在)
- ・目的を(もっと)意識すること
- ・ロータリークラブが監督、助言を行う(べき
である)
- ・どんな活動をしているのか記録をきちんと残
していくことが必要(IAC?)
- ・顧問、校長先生がロータリーをきちんと理解
しているのか?

議題3 活動に対する提案・指導は必要か?

- ・表面的なボランティアではなく、(障がい者
施設など)もっと内部の潜在的な苦労や仕組
みに目を向ける
- ・活動そのものではなく、奉仕の意味、目的など
インターアクトを学ばせることを「クラブの
活動」にすべきでは
- ・学校に対しては「指導」の話はしてはいけない
- ・ロータリーからの提案は必要ない。活動は
「学校全体」がよい。
- ・支援は意味があるから継続する。アルミ缶を
換金して活動資金にしている(ところもある)
- ・してもしなくとも、ただ「自主性」が大事で
ある
- ・企画は年(年度)によって変わる。もっとコ
ミュニケーションをとって!
- ・他のクラブと位置付けは同じなのか(学校内
で)? 学校からの補助はないのか?
- ・生徒が考えた事についてロータリークラブが
アドバイスを行う
- ・交流会に40万は多すぎる。事業費(としては)
30万?
- ・周りに感謝される活動を考えてもらう
- ・継続的な事業を重視するのか、ロータリーク
ラブから指示を出していくことも必要では?
- ・生徒側からの計画書を出してもらう
- ・地域のニーズを探らせる

みんなで守ろう子どもの安全 ～安全・安心なまちづくりを目指して～



広島市教育委員会 学校教育部
健康教育課 保健・安全係

指導主事 大庭 浩一 氏

1 広島市子どもの安全対策推進本部

広島市では、平成17年11月22日に発生した矢野西小学校児童殺害事件を受けて、こうした悲惨な事件を二度と発生させてはならないとの決意のもと、同年12月7日に市長を本部長とする「広島市子どもの安全対策推進本部」を設置しました。

子どもを犯罪から守るためにには、子どもに大人の目が常に注がれる状況を作り出すことが重要であることから、「子どもの見守り活動10万人構想」をキャッチフレーズとして、子どもを地域全体で守っていく態勢づくりを全市域で推進しています。

2 広島市の取組（主なもの）

(1) 「子ども安全の日」事業の実施

木下あいりさんの月命日となる毎月22日を「子ども安全の日」とし、防犯教室の開催や防犯ブザーの点検等を実施しています。

(2) 「地域学校安全指導員」による巡回指導

「地域学校安全指導員（警察官OB）」が、各幼稚園、小学校を巡回しています。

(3) 集団による登下校体制の整備

全小学校で登下校時に児童が1人になる区間を確認し、安全対策を検討・実施しています。市立小学校142校中、似島学園を除く141校で2人以上の複数登下校を実施しています。

(4) 防犯ブザーの全児童所持の推進

平成23年度から新入学1年生児童全員を対象に、防犯ブザーを配付しています。

(5) 見守り活動参加者10万人の確保

現在、ボランティアや地域団体等、組織的な見守り活動に約3万9千人、買い物や

散歩、通勤等、日常生活に見守りを組み込んだ活動に約6万2千人、計約10万1千人に協力いただいている。

また、児童の登下校の時間帯となる午前8時前後と午後3時以降に散歩や買い物等の用事と合わせて子どもを見守っていただく「8・3（ハチサン）運動」を推進しています。

(6) 公用車等による巡回

小学校には見守り活動用バイクや電動アシスト付自転車を配備し、また、区役所には青色回転灯付パトロールカーを配備し、巡回活動を行っています。

(7) 児童の自己防衛意識の高揚

危険な場所を見分け、危険を未然に防ぐ「危険予測能力」、危険から身を守る「対処能力」を育成するため、各学校で「防犯教室」を実施するなど、安全教育の充実を図っています。

3 最後に

近年、広島市立学校から、300～400件前後の不審者情報が寄せられており、子どもの安全を守るために取組を衰弱させることなく、継続していくことが必要であると考えています。その中でも、地域の方々による見守り活動は、登下校時の子どもたちの安全を守るために大きな力となっています。また、子ども達や保護者は、見守り活動に参加いただいている方々をはじめとする地域の方々に感謝し、気持ちを伝えていくことが大切です。

こうして地域がつながっていくことが、「安全・安心なまちづくり」につながります。この取組の推進には、皆様から御寄附いただきました「見守り活動用ジャンパー」が大きな力となっています。あらためて感謝申し上げます。

今後とも、「子どもの安全」のために尽力してまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

●卓話予告

日 時	テ　ー　マ
6 / 6 (木)	新会員卓話 「美容師家業」　上野 彰彦 君 「大地ファミリー」　大地洋一朗 君



広島西RC [検索](#) 

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森脇 宗彦
幹事 小橋 敏幸

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会